
桃の奇跡

UNNATURAL

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桃の奇跡

【Nコード】

N7437K

【作者名】

UNNATURAL

【あらすじ】

むかし、むかしの、ある小さな村の物語。

（前書き）

簡単で短くそれでいて、少しでも心に残るような作品になっていた
ら良いと思います。

ある小さな村の話。

旱魃に苦しむ小さな村があった。

長い日照りの影響で草木は枯れ、近くの池や川は干上がり、村人は飢えと乾きに苦しんでいた。

草木が枯れていく中、村の外れにある一本の大きな木は枯れる事無く、大きな桃を実らせ、その桃は旱魃に苦しむ村人たちにとって貴重な水分と食料だった。

不思議な事に、桃は何日経っても無くなる事がなかった。

村には二つの井戸があった。

一つは村の真ん中に、もう一つはある老婆の物だった。

老婆は村の外れに独りで住んでいて、咽を怪我していて言葉を発する事ができなかった。

あまり村にも出てこなかったもので、以前から村人は老婆を気味悪がっていた。

そしてそんな老婆に桃を持っていく者は誰もいなかった。

長い旱魃の中、村の井戸水はどんどん減っていった。

村長は老婆の所に行き、井戸の水を分けてくれるように何度もお願いしたが、老婆は井戸水を誰にも渡さず、首を縦に振る事も無かった。

そしてとうとう村の井戸水は底を尽きてしまった。

しばらくは桃で乾きを防いでいた村人たちも、日に日に老婆への不満が強くなっていった。

ある日、村人たちは皆で老婆の家いき咽の乾きを訴えた。

しかし老婆は悲しそうな顔で首を横に振るばかりだった。

そのとき、誰が投げたのか、石が老婆の細く小さい体に当たった。それに続くように次々と石は投げられ、気がつくと老婆は血を流しながらうつ伏せに倒れていた。

老婆は村の真ん中の井戸に生きてまま落とされた。

そして老婆の井戸水は村人たちに分けられた。

何日か経った頃、突然木に桃が実らなくなった。

そればかりか日に日に木は枯れていった。

頼りにしていた桃が無くなり、木が枯れるよりも早く人々は死に絶えた。

そして誰もいなくなった村に慈雨が降り、絶え間なく降り続く雨は全てを洗い流した。

村も人も罪も…

（後書き）

淡泊な作品ですが、この淡泊さで昔話のような雰囲気を作ろうと思いき図的に淡泊にしました。

作品に込められた思いとしては、

人の（老婆）優しさが作った奇跡、それを人の（村人）醜さが壊してしまった。

こんな哀れで醜い物語を慈雨が全て洗い流してくれた。（無かった事にしてくれた）

って言うハッピーエンドのつもりで作りました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7437k/>

桃の奇跡

2010年10月20日19時26分発行